

○家庭科の課題分析と具体的な授業改善計画 (令和4年度授業改善プラン 入新井第一小学校)

\* 3年度の改善プランの検証

裁縫では、玉留め・玉結び、なみ縫い、ボタン付けなどの基礎・基本的な知識・技能を、身に付けることができた。ただ、児童によって個人差があり、難なくスムーズにできる児童もいれば、一つの作業にとっても時間がかかる児童もいる。また自分で一日の達成目標を考えて取り組む児童もいるが、時間の制限なく取り組んで終わらない児童もいる。作品を2学期以降の学習で繰り返し学習することで、確実に身に付けられるようにしたい。

調理では、包丁の使い方、ガスコンロの使い方など、基礎・基本的な知識を身に付けることができたが、感染症対策で5・6年共に調理実習を行うことが難しく、年間1回のみ行った。技能部分は家庭学習・夏休み課題と連携しながら行ってきた。感染状況を見ながら、取り組んでいく必要がある。

「やってみよう家庭の仕事」「わたしの生活時間」「暑い季節を快適に」などの小単元でも、単元の学習の中で、自らの生活を振り返ったり課題を見つけたりすることで思考力・判断力・表現力をつけ、実習や実験を通して基礎・基本的な知識・技能の学習をすることができた。ただ、調理や裁縫の学習に比べて、学習したことを家庭で実践した児童が少なかった。学習したことを生かした実践をふりかえる機会をつくることで、思考力・判断力・表現力の育成にもつながる。調理や裁縫に比べて児童の関心は低くなってしまいう学習でも、児童がより「楽しい」と思えるような指導方法を工夫し、家庭での実践の意欲付けを行っていきたい。また、今後も、学習全体を通して、自分や家族の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した生活を工夫し、実践できるように、指導を続けることが必要と考える。

\* 4年度の改善プラン

観点	児童の実態		明らかになった課題	具体的な授業改善案	
	家庭	知識及び技能	五年	・裁縫道具の名称や使い方について理解はできている。しかし、使い方に関して使い慣れていない。 ・調理実習は1学期に行うことができた(ゆで卵)。	・裁縫では、裁縫道具の使い方の習熟を深めること。 ・ガスコンロの使い方は、引き続き行う必要がある。
六年			・食事の役割が分かり、日常の食事の大切さと食事の仕方について理解している。	・玉子を上手く割ることができないなど、技術の向上を図っていく必要がある。	・調理に入る前に一斉指導でやり方だけではなく上手く行うポイントを指導していく。
思考力、判断力、表現力等		五年	・裁縫を初めて行う学習が多く、意欲をもって取り組むことができた。 ・縫い方など理解してはいるが、自ら作成していくのが苦手。	・布を用いた製作について、自ら作成していけるようになるために、考えを広げたり深めたりすること。	・友達同士の関りを生かした学習を取り組んでいく。
		六年	・生活時間の有意義な使い方を、自らの生活経験と結びつけながら、考えることができる。 ・食生活について、自分の好みを中心とした食事を好んで食べるなど、学んだことを実生活に生かすことが難しい児童がいる。	・自分で献立を考える際に、栄養バランス等に気を配って献立作りをすること。	・栄養を考えた食事について、各自の課題を立ててから献立を考える。 ・栄養バランス表をホワイトボードに掲示するなどしながら、児童がバランスのよい献立を考えられるようにする。
主体的に学習に取り組む態度		五年	・玉結び、玉止め、波縫いができるが、縫うのに時間がかかってしまったり、いびつな形のまま仕上げにしてしまったりする児童もいる。 ・調理の実習は意欲的であるが、片付けに時間がかかってしまう。	・一連の学習過程を通して身に付けた力を生かして実践していくために、見通しをもって活動できるようにすること。	・タブレットを使って提示したり、分かりやすく声掛けしたりするなど、児童が綺麗に縫えるよう指導をしていく。また、丁寧に仕上げた作品例を提示するなど、児童の意欲を高める工夫をする。 ・見通しをもってできるよう調理計画や製作計画を立てたり、黒板の掲示を工夫したりする。
		六年	・調理実習や掃除、洗濯実習など、実技を伴う学習は、主体的に取り組むことができる児童が多い。その一方で人任せにしてしまう児童も若干いる。 ・一斉指導の際は、よく挙手をして意欲的に学習する児童と、あまり授業に集中していない児童がおり、温度差がある。 ・学習した内容を実際の生活で生かしたり、実際に家庭で実践する喜びに気付いたりすることに結びつきづらい。	・一斉授業でも実習でも学級の一員という自覚をもち、進んで協力しようとする態度を養うこと。 ・学習したことが役に立つ喜びを味わわせること。	・授業の最初に、誰でも答えやすい発問をするなど、児童が発言しやすい授業づくりをする。 ・上手く片付けができるようになることや、片付けをする目的を指導し、学習全体に目当てをもたせ、自発的に行動できるように指導する。